

## 優秀賞

中学生部門 〈問題提起している作品〉

鹿児島市立鴨池中学校 1年

プロビザンスキー 航平

### 一枚の写真

一枚の写真をお母さんが見せてくれました。

それは、ある国のおそらく空爆で柱しか残っていない建物の中でお父さんが二人の子供をバスタブで水遊びをさせている写真でした。

白っぽいマンションのような建物。壁も窓もなく柱もくずれ、鉄筋がむきだしています。大きな目がれきだらけです。

周りには誰一人いません。

そんな中で二人の子供は水遊びしてとても楽しそうに笑っています。

まっ黒いひげのあるお父さんは、水の中に手を入れて子供達を笑わせています。

希望も、持てないような所で、お父さんが子供達の笑顔のためにたまたま残っていた、バスタブでの水遊びをさせていたのだと思います。

ぼくは、人間の生き抜く力を感じました。

今のぼくの環境とは、あまりにも違っています。

普通に学校へ行き、ご飯を食べて家族と住んで、自分の家で何の不自由もなく生きていく。ぼく。

この親子の生活は、ぼくとは、全然違っていて、こわい思いもしたはずだし、今もしているかもしれません。

どこに住んでいるか何を食べているか分かりません。

「こんなつらい時でも笑顔にしてくれたこのお父さんはすごいね」

と母が言いました。

生き抜く力はつらいつらいと泣いて毎日を過ごす事じゃなくて、そんな中で自分を笑顔にする楽しみを見つける事、誰かを笑顔を大切にすることなのかと思いました。

つらい事があった時、その時、あなたはどうしますか。

自分や家族や友達を笑顔にする事が出来ますか。